

# 第17回 熊本県ジュニア空手道交流大会試合規約

平成30年11月1日改訂

## 【組手競技】

### I. 防具規定

●各自用意 ○主催者用意 △任意着用 -着用なし

防具	男子			女子			
	幼年	小学生	中学生	幼年	小3以下	小4以上	中学生
拳サポーター(布)	●	●	-	●	●	●	-
公式パンチンググローブ	-	-	●	-	-	-	●
スネサポーター(布)	●	●	●	●	●	●	●
ひざサポーター(布)	△	●	●	△	●	●	●
金的ファールカップ	●	●	●	-	-	-	-
ヘッドガード	○	○	○	○	○	○	○
スポーツブラ	-	-	-	-	-	●	●
アンダーガード	-	-	-	△	△	△	△
インナーチェスト	△	△	△	△	△	●	●

\*ファールカップ、アンダーガードは必ず道衣の下に着用してください。

\*小学4年生以上女子のインナーチェストとスポーツブラはどちらか選択し、必ず着用とします。

\*中学生は公式パンチンググローブを各自御用意ください。

\*インナーチェストは任意着用。腹部まで保護している物は不可。

### II. 組手試合時間

準決勝まで

準決勝まで	本戦		延長
幼年	1分	→	1分(マスト)
全クラス	1分30秒	→	1分(マスト)

決勝

決勝戦	本戦		延長		再延長
幼年	1分	→	1分	→	1分(マスト)
全クラス	1分30秒	→	1分	→	1分(マスト)

※マストシステムとは審判が必ずどちらかの選手に旗をあげ判定を行うものです。

### III. 判定基準規定

#### 【有効】

以下のそれぞれの条件に「気合」と「残心」が伴ったものを有効とする。

上段に禁止技を除く蹴り技がクリーンヒットした場合

道着をつかまないう一瞬の崩しや投げ、軸足払いなどで相手を転倒させ即座に下段突きを寸止めで決めた場合  
→転倒させられた相手による下からの蹴り上げは認める

相手の胴回し回転蹴り等をおかし即座に下段突きを寸止めで決めた場合

前蹴りや足刀蹴りなどで相手にヒットし相手が大きく転倒し、気合と残心を取った場合は「有効」とする場合がある。

#### 【技あり】

ダウンしていなくとも相当なダメージを認めた場合。

有効を2回とった場合

#### 【一本】

ダウンするか一時的に戦意を喪失した場合・

技ありを2回とった場合

有効を三回とった場合または技ありを1回と有効を1回とった場合

主審・医師が試合続行不可能と判断した場合

### IV. 禁止行為規定

カテゴリー1：(危険行為・負傷につながる禁止行為)

- 顔面(首含む)への手技・頭突きでの攻撃

※故意あるいはダメージのある顔面殴打の場合注意を乗り越して減点ポイント1となる場合がある

- 上段膝蹴り・金的・女子の下腹部への攻撃
- 主審の「やめ」の後での攻撃・背後からの攻撃・腰から上へ持ち上げての投げ
- 倒れた相手への攻撃
- 相手の蹴り足を持つての投げや攻撃
- 関節技をかける事
- その他主審が危険と判断した場合

カテゴリー2：(違反行為・試合の進行を妨げる禁止行為)

- 相手の道着をつかむこと・頭部、首へのかかえこみ
- 首相撲・クリンチを仕掛ける事
- 故意に場外へ逃げる事
- 負傷を装う又は誇張する行為

#### 【失格】

試合中、審判員の指示に従わない場合

出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合

### V. 減点ポイント基準

【注意(減点0)】 初めの軽微な注意

【警告（減点ポイント1）】注意が与えられたあとの禁止行為・ダメージを伴う禁止行為

【反則注意（減点ポイント2）】警告が与えられた後の禁止行為・大きなダメージのある禁止行為・減点ポイントが累積した場合

【反則＝反則負け（減点ポイント3）】反則注意が与えられた後の禁止行為・試合続行不可能なダメージのある禁止行為・減点ポイントが累積した場合

※懲罰はカテゴリーごとに累積され、減点ポイントはカテゴリーを超えて蓄積される。

## 【型競技】

### VI. 試合形式

- 1回戦から準決勝戦まで

各クラスの指定型を両者同時に行う。ただし中学生上級クラスのみ各自行う。

指定型

各小学生初中級クラス	中学生初中級クラス	各小学生上級クラス	中学生上級クラス
少年部型Ⅰ	太極Ⅰ	少年部型Ⅱ	平安の型

※平安の型は、平安1～5までの自由選択とする。

- 決勝戦

各クラス自由型（創作型でも可）とする

赤の選手から一人ずつ行う

### VII. 勝敗

勝敗はスピード・強弱・緩急・気合・優美性・姿勢・残心などを総合的に見て判定する。

### VIII. 注意事項

- ① 各道場ごとに必ずスポーツ保険に加入しておいてください。スポーツ保険未加入者の出場はできません。
- ② 試合中に生じた負傷・事故については主催者は一切の責任を負いません。但し選手の健康管理を考え大会医師を準備しております。
- ③ 大会会場のゴミ・ペットボトルは各自でお持ち帰りください。ご理解ご協力よろしくお願ひします。